

技術・家庭 (家庭分野)

発行者			教科書の記号・番号	判型 総ページ数	検定済年
番号	名称	略称			
2	東京書籍	東書◆	家庭 701	AB 306	令和2年
6	教育図書	教図◆	家庭 702	A4 変形 308	
9	開隆堂出版	開隆堂◆	家庭 703	AB 302	

※「発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示しています。

校種		聴覚障害特別支援学校	肢体不自由・病弱特別支援学校
観点	生徒の実態	・両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上で、補聴器等の使用によっても通常の話し声を解することが不可能又は著しく困難な程度である。	・肢体不自由の状態が、補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度である。 ・慢性の疾患等の状態が、継続して医療又は生活規制を必要とする程度である。
	内容の取扱い等	1 障害のある生徒が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①視覚的な方法等を活用した学習活動が工夫できるもの。 ②生活経験を広げるような学習活動を紹介しているもの。	①上肢の操作を伴うものであっても、教材や補助的手段等を活用して、実際に学習しやすい活動があるもの。 ②経験不足を補えるように、生活に結び付いた学習活動が示されているもの。 ③肢体不自由や病弱の理解にかかわる記述があるもの。
	2 障害への配慮を要する内容等について	①言葉や音を聞き取る活動があり、学習活動に困難が想定されるもの。	①上肢の操作を伴うため、道具等を扱う学習活動に困難が想定されるもの。 ②道具等を使用する活動の際に、安全面での配慮が必要とされるもの ③アレルギー疾患等にかかわる配慮が必要なもの。
構成上の工夫	障害の状態に応じた事項、その他	①聴覚の障害を補えるように、写真、図絵等で視覚的に説明しているもの。	①学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されていたり、各単元等のまとまりが記されていたりするもの。 ②写真、図表等で視覚的に示されているもの。

発行者		東書	教図	開隆堂	
内容	内容区分の量 (ページ数)	A「家族・家庭生活」	57	58	56
		B「衣食住の生活」	164	169	158
		C「消費生活・環境」	28	45	40
	実践的・体験的な活動を取り上げている箇所数	①調理に関する事項	52	54	44
		②被服に関する事項	22	7	10
		③幼児や高齢者との関わりに関する事項	4	3	4
	「生活の課題と実践」に関する内容のページ数	11	10	12	
	キャリア教育に関する内容を取り上げている箇所数	18	14	16	
	安全・衛生に関する内容を取り上げている箇所数	14	31	31	
	持続可能な社会に関する内容を取り上げている単元数	6	3	5	
	発展的な内容を取り上げている箇所数	9	7	9	
	聴覚障害の生徒が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について	37箇所	32箇所	43箇所	
	①視覚的な方法等を活用した学習活動が工夫できるもの。 ②生活経験を広げるような学習活動を紹介しているもの。	①「幼児との関わり方の工夫」では、写真の表情を見て幼児の気持ちややりとりを想像して、吹き出しに書き入れる活動がある。(P239) ②「省エネルギーと継続可能な社会」では、身近でできるCO ₂ 排出を抑えるための行動を紹介している。(P203)	①「家族が暮らしやすい住まい方を考えよう」では、間取り図を見て何のマンガやアニメの家族の家かを考える活動がある。(P221) ②「幼児の遊びと発達のかかわりを知ろう」では、新聞紙やつみきを使って幼児との遊び方を考える活動を紹介している。(P51)	①「栄養素のはたらきと6つの基礎食品群」では、栄養素を視覚的に確かめるための簡易な実験がある。(P85-87) ②「消費者被害と消費者の自立」では、キャッチセールスのロールプレイングにより、具体的な対応を考える活動を紹介している。(P247)	
聴覚障害への配慮を要する内容等について	0箇所	0箇所	0箇所		
①言葉や音を聞き取る活動があり、学習活動に困難が想定されるもの。	①該当なし	①該当なし	①該当なし		
構成上の工夫	本文の文字の大きさ	1年最初 10.5ポイント 3年最後 10ポイント	1年最初 12ポイント 3年最後 11ポイント	1年最初 10ポイント 3年最後 10ポイント	
	1ページの基本的な文字数	1年最初 27文字×15行 3年最後 27文字×5行	1年最初 25文字×9行 3年最後 25文字×13行	1年最初 32文字×16行 3年最後 29文字×21行	
	欄外の文字の大きさ	1年 8.5ポイント 3年 8.5ポイント	1年 9ポイント 3年 9ポイント	1年 8ポイント 3年 8.5ポイント	
	ふりがな	未習得漢字及び難読漢字	未習得漢字及び難読漢字	未習得漢字及び難読漢字	
	障害の状態に応じた事項、その他 ①聴覚の障害を補えるように、写真、図絵等で視覚的に説明しているもの。	①「何をどれくらい食べればよいか」では、同じ重さの野菜や果物を、実物大の写真で示している。(P37)	①「いろいろな販売方法や支払い方法を知ろう」では、会話形式で仕組みを説明している。(P252)	①「家庭内事故への備え」では、ねらわれやすい住まいについて、不審者のイラストと吹き出しで視覚的に説明している。(P217)	
参考	防災や自然災害の扱い	あり	あり	あり	
	持続可能な社会づくりの扱い	あり	あり	あり	
	性差と家族についての扱い	あり	あり	あり	
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり	

発行者		東書	教図	開隆堂	
内容区分の量 (ページ数)	A「家族・家庭生活」	57	58	56	
	B「衣食住の生活」	164	169	158	
	C「消費生活・環境」	28	45	40	
	実践的・体験的 な活動を取り上 げている箇所数	①調理に関する事項	52	54	44
		②被服に関する事項	22	7	10
		③幼児や高齢者との関わり に関する事項	4	3	4
	「生活の課題と実践」に関する内容のページ数	11	10	12	
	キャリア教育に関する内容を取り上げている箇所数	18	14	16	
	安全・衛生に関する内容を取り上げている箇所数	14	31	31	
	持続可能な社会に関する内容を取り上げている単元数	6	3	5	
発展的な内容を取り上げている箇所数	9	7	9		
内容	1 肢体不自由・病弱の生徒が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について	41箇所	85箇所	69箇所	
	①上肢の操作を伴うものであっても、教材や補助的手段等を活用して、実際に学習しやすい活動があるもの。 ②経験不足を補えるように、生活に結び付いた学習活動が示されているもの。 ③肢体不自由や病弱の理解にかかわる記述があるもの	①「作って楽しい布製品」では、フェルトを使った作品が紹介されており、端の始末を省略して製作ができる。(P152-153) ②「日常食の調理」では、野菜、いもなどを茹でたり、蒸したり、炒めたりして味や食感の違いを確かめる活動がある。(P62) ③「地域での協働を目指して」では、車いすで生活する人からのメッセージがあり、肢体不自由の理解につながる。(P266)	①「健康によい食習慣について考えよう」では、食習慣を工夫する活動があり、方法を工夫することができる。(P77) ②「家族関係をよりよくする方法を考えよう」では、事例を基に様々な家族の役を演じるロールプレイングの活動があり、生活に結び付いている。(P22-23) ③「家庭内事故から家族を守ろう」では、車いすでも入りやすいユニバーサルデザインのトイレの紹介があり、肢体不自由の理解につながる。(P225)	①「ドキドキワクワクふれ合い体験」では、作ったおもちゃで幼児と遊んだり、絵本の読み聞かせなどをしたりする活動があり、方法や道具を工夫することができる。(P45) ②「家庭生活における収入と支出」では、中学入学のためにかかった費用を調べる活動があり、生活と結び付いている。(P233) ③「多様な人びとが暮らす地域」では、車いすを使用する人のための工夫を示してあり、肢体不自由の理解につながる。(P59)	
	2 肢体不自由・病弱への配慮を要する内容等について	12箇所	15箇所	15箇所	
①上肢の操作を伴うため、道具等を扱う学習活動に困難が想定されるもの。 ②道具等を使用する活動の際に、安全面での配慮が必要とされるもの ③アレルギー疾患等にかかわる配慮が必要なもの。	①「幼児の心の発達」では、巻末の視界体験眼鏡を作った幼児の視界を体験する活動があるが、紙質が柔らかく、取り扱う際に配慮が必要である。(P227) ②「肉の調理」では、ハンバーグの調理で熱したフライパン上のたねの中央を指でくぼませる方法が紹介されており、安全上の配慮が必要である。(P75) ③「バランスの良い献立作り」では、献立を考える参考例の主食の大半を、小麦粉製品が占め、アレルギーへの配慮が必要である。(P41)	①「調理の基礎を知ろう」では、じゃがいもを使って包丁の練習をしながら廃棄率を計算する活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P115) ②「地域の人々と、協力・協働しよう」では、重りやゴーグルなどを身に付けて高齢者体験を行う活動が紹介されており、安全上の配慮が必要である。(P29) ③「1日に必要な食品の種類や概量を知ろう」では、ラーメンの具や料理の組み合わせを考える活動があり、小麦アレルギーへの配慮が必要である。(P86)	①「こんなにおいしい魚の調理」では、あじなどの下ごしらえの必要な魚の調理例を示しており、取り扱う際に配慮が必要である。(P127) ②「地域に暮らす高齢者」では、ペアで立ち上がりや歩行などの介助を体験する活動があり、安全上の配慮が必要である。(P61) ③「地域の食文化」では、地域の野菜を使って手打ちうどんを作る活動があり、小麦アレルギーへの配慮が必要である。(P145)		
構成上の工夫	本文の文字の大きさ	1年最初 10.5ポイント 3年最後 10ポイント	1年最初 12ポイント 3年最後 11ポイント	1年最初 10ポイント 3年最後 10ポイント	
	1ページの基本的な文字数	1年最初 27文字×15行 3年最後 27文字×15行	1年最初 25文字×9行 3年最後 25文字×13行	1年最初 32文字×16行 3年最後 29文字×21行	
	欄外の文字の大きさ	1年 8.5ポイント 3年 8.5ポイント	1年 9ポイント 3年 9ポイント	1年 8ポイント 3年 8.5ポイント	
	ふりがな	未習得漢字及び難読漢字	未習得漢字及び難読漢字	未習得漢字及び難読漢字	
	障害の状態に応じた事項、その他	①各単元の冒頭に、目標を示している。(P22) ②「栄養素ってなんだろう」では、栄養素の種類と働きをイラストで示している。(P27)	①各単元の冒頭に、めあてとともにキーワードを示している。(P14など) ②「買い物をふり返ってみよう」では、買い物の意思決定のプロセスを、イラスト入りの流れ図で示している。(P242-243)	①単元の冒頭に、導入となる問いかけや活動の紹介を枠組みで示している。(P16など) ②「健康によい食習慣」では、体に入った栄養素のゆくえをイラストで示している。(P78)	
	①学習のポイント等が大きな文字や枠組み等で簡潔に記されていたり、各単元等のまとまりが記されていたりするもの。 ②写真、図表等で視覚的に示されているもの				
参考	防災や自然災害の扱い	あり	あり	あり	
	持続可能な社会づくりの扱い	あり	あり	あり	
	性差と家族についての扱い	あり	あり	あり	
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり	

